

平成 20 年度 9 月補正予算の概要

1 総括

現在の社会経済情勢を踏まえ、厳しい財政環境の下、緊急かつ不可欠な事業に限定して補正予算を編成した。

2 補正予算の規模

一般会計	30億7,065万6千円
(補正後累計)	1兆7,212億2,365万6千円)
特別会計(流域下水道事業)	債務負担行為の設定

3 主な内容

原油・飼料価格高騰対策

新	社会福祉施設の冬期暖房用燃料費及び送迎用車両燃料費に対する助成	7,302万2千円
新	施設園芸における省エネルギー効果の高い機器の導入に対する助成	3,000万円
新	畜産経営における自給飼料の生産拡大に対する助成	1,037万5千円

その他

	県税に係る還付金	24億6,300万円
新	生活ホームにおける消防用設備整備に対する助成	465万円
	公共事業の国庫補助内定差等の整理	2億5,200万6千円
	新芝川等における放置船舶対策の推進	3,809万円
新	流域下水道における包括的民間委託の実施《流域下水道事業特別会計》 <債務負担行為の設定> 限度額	11億9,100万円

4 財 源 (一般会計)

・ 国庫支出金	1億1,778万4千円
・ 分担金及び負担金	2億9,503万5千円
・ 使用料及び手数料	3,677万4千円
・ 繰越金	26億3,125万4千円
・ 諸収入	3億 980万9千円
・ 県債	3億2,000万円